地歴公民科特別講座

知られざる金属資源の世界

ー資源のない日本が、資源を安定して手にする話ー

地歴公民科

１　期日　　１月29日（金）　15時20分～

２　場所　　地歴公民室

３　講師　　独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）
目次英哉氏・河原弘和氏（本校61期・2009年卒業生）

４　概要

日本はGDP世界第３位の先進工業国ですが、銅や亜鉛、ニッケルやクロムなど、金属資源のほとんどを海外に頼っています。金属資源の安定確保のためには、外交や経済・技術援助を通じた「持てる国」との関係強化、国際社会の安定が欠かせません。そうした活動を後押ししているのがJOGMECで、私たちの暮らしと産業の発展のため、公共の見地から国家の事業を実施しています。

今回の特別講座では、日本が抱える資源問題や資源外交の重要性を理解するとともに、海外での金属資源探査・開発に携わっている本校卒業生の方から最新の探査技術や今後の課題を学び、国際貢献やソーシャルビジネスのやりがいについて、後輩たちへの熱いメッセージをもらいます。

５　先輩からのアピール

旭丘OB（61期）の河原です。現在、JOGMECという組織で地質技師として「金属資源探査」の業務に携わっており、新しい金属鉱床を見つけるためにジャングル、砂漠、高地と世界中場所を問わず調査しています。今回の特別講座では、金属資源探査の現場の様子や資源生産国の政策に翻弄された経験などリアルな実体験をお伝えできたらと思います。また、そもそも私が今の職業につながるきっかけとなった高校時代の経験についても共有し、皆さんの進路選択の参考の一例になればと思っています。

資源業界は幅広い分野にまたがっています。私のような理系技術者だけでなく、政治、外交、法律、物流、マーケティングといった文系分野の方々も資源業界のメインストリームを担っています。理系・文系という枠にとらわれず、多くの方々に参加していただけたらうれしいです。

ミャンマーにて・高校時代は
ワンゲル部でした

南米・アンデス山中での探査（チリ）

南太平洋の島での探査（フィジー）